

2020年1月

各位

日本フードサービス学会 研究委員長 伊藤 匡美
研究助成委員長 小泉 徹

2019年度第5回研究部会（研究助成中間報告会）のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は研究委員会と研究助成事業の運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

標題の報告会を下記の通り開催いたしますのでご多用とは存じますが、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時 2020年2月7日(金) 18:00～ (終了 19:00 予定)
2. 会 場 JFセンター会議室（裏面地図参照）
東京都港区浜松町 1-29-6 浜松町セントラルビル 10階
3. 参加費 無料 ※非会員の方も参加可能。ビル警備の都合上、**必ず事前に参加申込みをして下さい。**
4. 参加申込 裏面申し込み用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。
締め切り：1月31日(金)まで

5. 定 員 先着 60名

6. 報 告 『グルメ情報サイトのソーシャル化に関する研究
～「人を感じる」効果の解明と体験価値向上に向けて～』
報告者：早稲田大学大学院商学研究科 博士後期課程 臼井 浩子 氏



報告要旨

本研究では、近年のトレンドである「グルメ情報サイトのソーシャル化」に着目し、このソーシャル化がサイト利用者に対して、どのような影響を与えているのかを明らかにする。研究は実証的なアプローチによって実施され、Study 1と Study 2の調査で構成される。Study 1では、「社内的な繋がり」を必要とする個人的特性を持つ被験者は、グルメ情報サイトのクチコミ書き手のプロフィール画像に人の顔が使われている場合、読み手がその画像を通じて、「人の存在」を感じることができるため、クチコミに対して、信頼性と楽しさを感じるという仮説に立つ。Study 2では、「社会的な繋がり」を必要とする人がグルメ情報のクチコミに接した際、クチコミ書き手のプロフィール画像が人の顔であると、「人を感じる」ために、健康的な食事を選好するという仮説を検証する。中間報告では、Study 1の仮説の検証結果をご説明させていただく。

7. 問合せ先 日本フードサービス学会事務局 担当：堀口
TEL：03-5403-1060 E-mail：info-gakkai@jfgakkai.jp

以上

FAX : 03-5403-1070

締切：1月31日(金)

日本フードサービス学会事務局 行き

日本フードサービス学会 2019 年度第5回研究部会 (研究助成中間報告会) の参加申込書

参加者氏名	役職

(申込書受理後、事務局からは特に返信は致しませんので、当日直接会場へお越し下さい)

☆ご連絡先

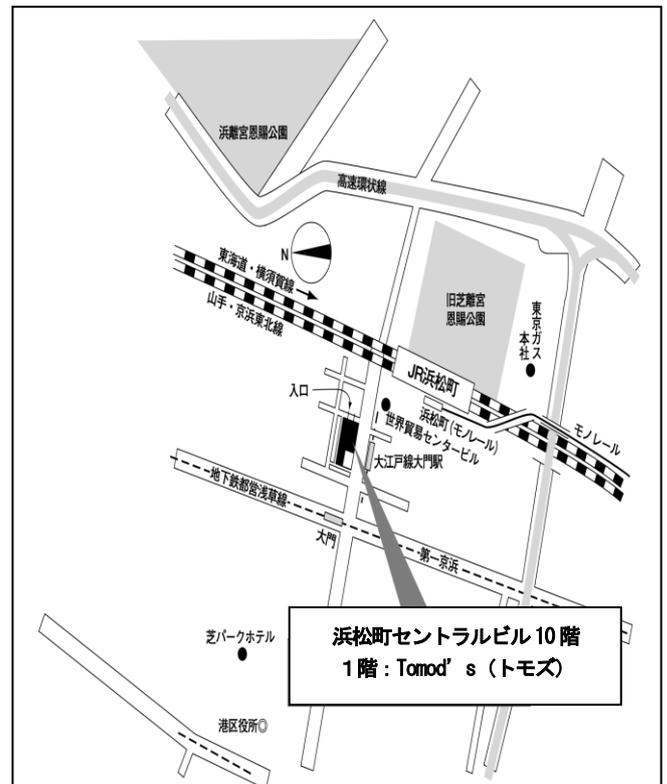
御社名

ご担当者氏名

ご担当者役職

電話番号

日本フードサービス学会研究部会会場地図



- JR「浜松町」駅より徒歩3分、都営浅草線「大門」駅より徒歩2分
- 都営大江戸線「大門」駅より徒歩1分